

JTB バドミントンS/JリーグⅡ2019 参戦！！

宇部興産バドミントン部が出場しました「S/J LEAGUE Ⅱ」の結果を報告いたします。
結果は「第4位」(全8チーム)と、2年連続のAクラス入りとなりました。

昨年4年ぶりにAクラス入り(4位)を果たし、今年は3位以内を目標に日々の練習に取り組んできました。
シングルスは昨年からの白星を14連勝と伸ばし安定した戦いでポイントを上げましたが、ダブルスは善戦するも黒星となり昨年と同じ4位となりました。

今年は新入部員4名を加えた新戦力のチームで、その中のシングルの藤井湧也が新人賞を獲得しました。
その他の加入選手も出場機会があり経験を積むことができたため、来年以降期待が持てる大会となりました。

大会の様子は以下の通りです。

【大会1日目】

初日は2試合あり、初戦は創部から破竹の勢いで2部まで駆け上がってきたコンサドーレです。
元1部リーグ選手を率いるコンサドーレは強敵で、初戦を飾る第1ダブルスは青見・桐田。終始競りながらも0-2で敗退。シングルスは今年入部の藤井。華麗なるフットワークを活かして2-0で勝利。第2ダブルスは古城・栗木がファイナルゲームまで粘るも1-2で敗退し、初戦は黒星スタートとなりました。

2試合はセーレン戦。第1ダブルスとシングルスは1試合目と同じで第2ダブルスは若手ペアの栗木・福間での布陣。第1ダブルスを・シングルスは勝利しましたが第2ダブルスは残念ながら0-2で敗れましたがチームとしては貴重な1勝を上げました。1日目を終えて当部含め3チームが1勝1敗と中盤に位置付け、リーグ混戦の予感です。

【大会2日目】

1試合目は旭工芸戦。上位に食い込むためにも勝っておきたい重要な対戦です。2日目からは後援会応援部隊が駆け付けて下さり、大声援を味方につけて試合に臨みました。第1ダブルスは青見・桐田。立ち上がりもよく第1ダブルスの責任を十分に発揮し、勝利のバトンシングルスにつなぎます。シングルスは藤井が圧巻のプレイで点を稼ぎながら2-0で勝利を手繰り寄せます。チームの勝ちが決まり3-0で勝利したかったところですが、第2ダブルスの古城・栗木は中盤までは競るものの、終盤に引き離されてしまい、0-2で敗れました。

続く、2試合目はAC長野パルセイロBC。第1ダブルスの青見・桐田が1ゲームを先取して応援席も盛り上がるもファイナルゲームでもつれ、ファイナルゲームもあと数点というところで勝ち切ることが出来ませんでした。シングルスではルーキーの藤井が見事に相手を圧倒して2-0で取りました。第3ダブルスは今大会初出場となる古川・福間で挑み1ゲームを先取して勝利へ王手をかけました。しかし、2ゲームは19点まで競るも取り損ねてしまい、勝敗はファイナルゲームに委ねられましたが、勝ち切ることができずにチームは2敗目。

3試合目は今次S/Jリーグから降格してきたトリッキーパンダースで、第1ダブルスに古城・栗木を起用しましたが格上のチームに善戦はするものの0-2で敗退。シングルスは連戦の疲労もある中藤井が苦戦しながらも2-1で取り第2ダブルスは青見・桐田で、1ゲームを落とすも2ゲームとファイナルゲームは青見の技が冴え、見事2-1で逆転劇を起こしました。2日目を終えて、3勝2敗が3チームとなりその上位・下位も最終日の結果次第ではどうなるか予測がつかない大混戦の状態になりました。

【大会3日目】

いよいよ最終日。疲労が残る中、勝利を目指して3日目の試合が開始されました。相手はここまで5勝0敗の丸杉です。第1ダブルスの古城・栗木が相手チームのエースダブルスに挑み、中盤までは互角の戦いを見せるも、徐々に押されて0-2で落とします。シングルスはここまで全勝している藤井。昨日の疲れを感じさせないプレイで圧倒して2-0で勝利し第2ダブルスの青見・桐田につなげます。試合はファイナルゲームまでもつれるも、最後は点を引き離されて敗退して、チームの勝利とはなりませんでした。

最終戦は、最下位を免れたい大同特殊鋼で、瀬戸際のチームの気持ちをぶつけてきました。
第1ダブルスは青見が疲労によりペアを替え、栗木・福間、第2ダブルスに桐田・古城を起用。シングルスは不動の藤井です。第1ダブルスは若い力で頑張るも相手のパワーに押され0-2で取られるも、シングルスは藤井が安定した試合運びで点差を広げての2-0で快勝。最後の第2ダブルスは相手の勝ちに対する気持ちが強く0-2で敗退しチーム最終成績は3勝4敗となりました。

今回は鹿児島県での開催で、たくさんの会社関係また後援会の皆様に会場まで足を運んでいただき、大きい声援とご厚情を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

この一年、選手一人一人が今まで以上に練習に励み、特別な思いで取り組んできたことが結実し、シングルスはルーキーが全勝という快挙で、また例年以上にベンチのメンバーを含めチーム全体がまとまってAクラスを維持した原動力となりました。

今回のリーグで、今後さらにレベルアップするためにシングルス・ダブルスにおける問題点や強化策等が見えてきました。来年は、悲願のS/JII優勝、S/Jリーグ昇格を目指し全身全霊をかけて努力してまいりますので、引き続き皆様の暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【大会結果】 第4位 (※結果詳細はバドミントンS/Jリーグ公式HPに掲載されています)

優勝	丸杉	5位	セーレン
準優勝	コンサドーレ	6位	トリッキーパンダース
3位	旭工芸	7位	AC長野パルセイロBC
4位	宇部興産	8位	大同特殊鋼

〈新人賞〉 宇部興産 藤井湧也 シングルス全勝

大会会場・会期 指宿総合体育館(鹿児島県指宿市)
2019年11月15日(金)～11月17日(日)



【新人賞選手紹介】

今回、シングルスで全勝を挙げた頼もしい新人選手の藤井湧也君です。日本大学卒業後、宇部物流サービス(株)に入社しました。

シングルスプレイヤーで、今年の国体でも山口県代表として出場しました。

軽やかなフットワークに人優しい笑顔がチャームポイントです。今後益々の活躍が期待できる選手です。



宇部興産バドミントン部後援会会長 石川 好夫

本紙に関するお問い合わせは [e-mail : 25742u@ube-hp.or.jp](mailto:25742u@ube-hp.or.jp)

HP : <https://ube-badteam.org/>

〒755-0024 山口県 宇部市 野原 1-2-38
宇部興産バドミントン部後援会事務局 吉川 直樹